今日から読める ヘブライ語

谷内意咲 著

ミルトス

今日から読める ヘブライ語

谷内意咲 著

ミルトス

はじめに

こんにちは！שָׁלוֹם

いきなりですが、冒頭の言葉は「シャローム」というヘブライ語の挨拶です。難しそうな文字だと思われた方、大丈夫です。読めるようになります。あまり肩に力を入れず、気軽に本書を読み始めてみてください。

本書は『今日から読めるヘブライ語』とのタイトルどおり、ヘブライ語が読めるようになることを、第一の目標としています。中身は三部構成になっています。第一部では、ヘブライ語の文字がどのようなものかをじっくりと見ていきます。第二部は、ヘブライ語の文法を項目毎にざっくりと説明します。第三部では、聖書の原典や有名な言葉をヘブライ語で読みます。

今までまったくヘブライ語に触れたことがなく、とりあえず読めるようになりたいと思われる方は、第一部で文字を覚えたら、次に第三部で実践するのもいいでしょう。また、ヘブライ語とはどんな言葉なのかを知りたいという方は、第二部を中心に読んでもらっても構いません。

ヘブライ語は旧約聖書の原語ですが、今も生きた言葉としてイスラエルの日常生活で使われています。それで、ヘブライ語にまつわる興味深い話や体験談を、「ヘブライ語ちょっとブレイク」として章の間にちりばめました。

本書を読めば、ヘブライ語のすべてがわかる、というわけではありません。ヘブライ語の世界を駆け足で知っていただくために、むしろ、なるべく例外を排除し、シンプルな説明を心がけました。

本書がきっかけとなって、ヘブライ語への興味が増し、次のステップに行きたいと思われたなら、これに勝る喜びはありません。

谷内意咲

יִצְחָק טָנִיאוּצִ׳י

目　次

はじめに　3

第一部　ヘブライ語の文字 ---------- 7

第１章　アレフベートはたったの 22 文字　8

アレフベート基本形、母音記号、ヘブライ文字は子音を表す、読み方、発音表記、ダゲッシュ、語末形、読むのは比較的簡単

第２章　活字体・筆記体、そして覚え歌　16

活字体と筆記体、間違いやすい文字、暗号解読？、日本人ユダヤ教徒・小辻節三師、アルファベットの歌

第３章　アレフベートを覚えよう　24

いろいろな書体、頁の見方、アレフからタヴまで

第二部　ヘブライ語の世界 ---------- 59

第４章　すべての単語に“根っこ”がある　60

読み方練習、語根という概念、語根の数は？、外来語も語根に

第５章　名詞のお話　66

すべて男性・女性に区分される、女性形の見分け方、単数形と複数形、２つを表す双数形

第６章　代名詞のお話　72

人称代名詞、指示代名詞、名詞文の作り方、平叙文と疑問文、肯定文と否定文

第７章　冠詞と形容詞　80

冠詞の基本、形容詞、名詞と名詞で修飾

第８章　前置詞と人称接尾辞　88

前置詞に２種類ある、人称接尾辞、名詞にも動詞にも人称接尾辞は付けられる、「私のもの」と「貴男のもの」

第９章　動詞のお話　96

動詞の現在形、動詞の過去と未来、名詞文の時制を変換、動詞を支える７つの態、それぞれの態が持つ意味、７つの態をもつ語根の例

第10章　意外なところにヘブライ語が　106

マイム・マイム、クラヴマガ、ハルマゲドン、アトバッシュ、聖書が出典の名前

第三部　原文で読んでみる　113

声に出して読む　114

アブラハムの出発、モーセの燃えるしば、シェマーの祈り、強く・かつ雄々しくあれ、ダビデの油注ぎ、幸いなるかな！、主はわが牧者、すべての事には時がある、律法はシオンから、カディッシュ、ラビ・ナフマン、ヘルツェル、幸いだ・一本のマッチは、ハティクヴァ「希望」

ヘブライ語ちょっとブレイク

①「オレは出産せねば！」14
②あなたの天幕は何と…　22
③安息日に平安あれ　56
④モーセには角があった？　64
⑤あなたは男性？女性？　70
⑥カレブの単独行動　78
⑦その平和を命じたラビン　86
⑧白髪の前では起立せよ　94
⑨星たちの戦い・第四幕　104

もっとヘブライ語を学びたい方へ　141

第一部

ヘブライ語の文字

第１章

アレフベートは たったの２２文字

まずはヘブライ文字・母音記号を知るところから始めましょう

❖ アレフベート基本形

一般的に文字を指す言葉は「アルファベット」ですが、ヘブライ語では「アレフベート」と呼ばれます。アルファベットという名前は、ギリシア語の最初の 2 文字「アルファ（α）ベータ（β）」からそう呼ばれているように、ヘブライ語も最初の 2 文字から「アレフ（א）ベート（ב）」と言います。日本語で「いろは」と言うのと似ていますね。

それでは次頁のアレフベートを読んでみましょう。全部で 22 文字です。ヘブライ語の特徴は、英語とは逆に、右から左に書かれることです。

英語 26 文字に比べれば、あるいは日本語の漢字を習得する外国人のことを考えれば、ヘブライ文字を覚えるのはまだ楽なほうだと言えるでしょう。

英語に「A（エー）B（ビー）C（シー）D（ディー）……」と文字の呼び名があるように、ヘブライ語にもあります。

さあ、「アレフ、ヴェート……」と実際に声に出して読んでみてください。

א ב ג ד ה ו ז ח ט י כ ל מ נ ס ע פ צ ק ר ש ת

ヘブライ語文字

読み方	基本形	発音表記	ダゲッシュ	語末形
アレフ	א	'a		
ヴェート	ב	v/b	בּ［ベート］	
ギメる	ג	g		
ダれット	ד	d		
ヘー	ה	h		
ヴァヴ	ו	v/w		
ザイン	ז	z		
テット	ט	t		
ユッド	י	y		
ヘット	ח	kh		
はフ	כ	kh/k	כּ［カフ］	ך
らメッド	ל	l		
メム	מ	m		
ヌン	נ	n		ן
サメふ	ס	s		
アイン	ע	'a		
フェー	פ	f/p	פּ［ペー］	ף
ツァディ	צ	ts		ץ
クフ	ק	k		
レーシュ	ר	r		
シン	שׁ	sh/s	שׂ［スィン］	
タヴ	ת	t		

母音記号

発音	ア	イ	ウ	エ	オ	半母音
長母音	ָ	יִ	וּ	ֵ יֵ	וֹ ֹ	ְ
短母音	ַ	ִ	ֻ	ֶ	ָ	音節の最初に来たとき＝［エ］それ以外は＝［ウ］に近い発音
最短母音	ָ:			ֱ ֲ ֳ	ָ:	

※母音の長短は現代の発音ではほとんど区別がありません。

❖ 母音記号

母音の基本は日本語と同じ 5 つ「アイウエオ」です。ヘブライ語の発音は、意外と日本人にはなじみやすいかと思います。

❖ ヘブライ文字は子音を表す

א や **ע** 以外の文字はすべて子音を表します。例えば **מלך** という単語があります。発音表記だと「mlkh」となり、どう読んで良いのかわかりません。子音を表す文字に母音記号が入って、はじめて読み方が明確になります。

ちなみに **מלך** という単語は、**מֶלֶךְ** [melekh]（名詞の「王」）とも読めますし、**מָלַךְ** [malakh]（動詞の「治める」）とも読めます。

現在イスラエルでは、新聞や町中の看板などは、右の写真のように、ほとんど母音記号なしで表記されています。道路標識は固有名詞が多いので分かりやすいですが、文章の途中で読み方の分からない単語などに遭遇した場合、その前後関係をみながら推測するしかありません。

ちなみに右の標識は、上からエルサレム、テルアビブ、ヨルダン、アカバと書いてあります。

実際の道路標識

ムイらャシルェイ	יְרוּשָׁלַיִם
ヴーィヴア るテ	תֵּל אָבִיב

日本語表記も右から左に読みます

ヘブライ語を母音記号なしで読めるようになるまでには、高いスキルが必要であると感じられるかもしれませんが、慣れの問題です。それは、私たちがルビ（フリガナ）なしで漢字を読むのに似ていると言えます。

日本語の新聞にルビはありません。知っている漢字ばかりであれば、ルビがなくても問題ありません。逆に、いちいちルビがふってあると、煩わしく感じます。その感覚に近いでしょう。

❖ 読み方

本書の日本語の表記に関してですが、カタカナとひらがなを混合して使用しています。基本的にはカタカナ表記ですが、ハ行とラ行だけは、ひらがなとの使い分けをしています。

ハ行がカタカナの場合は ה の文字のときで、日本語のハ行と同じ発音です。ひらがなで書かれているときは、「喉音」という喉が擦れる独特の音を表し、それに相当する文字は ח と כ です。日本語にない発音ですが、喉の奥に魚の骨が引っかかったときに「かーっ」とやるような感触です。

הוֹ	הֵ	הוּ	הִי	הָ	⇔	חוֹ	חֵ	חוּ	חִי	חָ	כוֹ	כֵ	כוּ	כִי	כָ
ホ	ヘ	フ	ヒ	ハ	⇔	ほ	へ	ふ	ひ	は	ほ	へ	ふ	ひ	は

ラ行はカタカナだと ר［R に相当］、ひらがなだと ל［L に相当］の発音を表します。

רוֹ	רֵ	רוּ	רִי	רָ	⇔	לוֹ	לֵ	לוּ	לִי	לָ
ロ	レ	ル	リ	ラ	⇔	ろ	れ	る	り	ら

ヘブライ語を右から左に読むのは、その昔、左手にノミ、右手にカナヅチを持って石板に文字を刻んでいったため、右から書かれるようになったと言われます。日本でも一昔前までは右から左に書いていたことを思えば、偶然の一致とはいえ、なんだか親近感が湧きませんか？

❖ 発音表記

9 頁の表を見てください。ひらがなとカタカナ以外に、ローマ字表記を記しました。特殊な発音である ח と כ に関しては [kh] と表記します。

❖ ダゲッシュ

基本形の列にあるのが、全 22 文字。その下の「ダゲッシュ」は、基本形に点が付いたり点の位置が変わると、発音が変化するものです。全部で 4 文字あります。（ダゲッシュとは「強調」という意味のヘブライ語です）

בּ ヴェート [v] → ב ベート [b]	כּ はフ [kh] → כ カフ [k]
פּ フェー [f] → פ ペー [p]	שׂ シン [sh] → שׁ スィン [s] *

（＊ שׂ に付く点はダゲッシュとは呼ばれませんが、ここでは発音が変わる点ということで、同じ項目に記しています。）

❖ 語末形

表の最下段の「語末形」は、単語の最後にこれら 5 つの文字が来た場合、特別な形に変化します。

語末形を持つのは全部で次の 5 文字です。形が違うだけで、発音などは基本形と変わりません。

כ（基本形）→ ך（語末形）　מ → ם　נ → ן　פ → ף　צ → ץ

❖ 読むのは比較的簡単

アレフベート 22 文字と母音記号との組み合わせさえ理解できれば、今日からあなたもヘブライ語を読むことができます。

まずは 9 頁の文字と母音記号の一覧を見ながら、下の単語の読みにチャレンジしてみてください。

ヘブライ語は右から左に、【読み】【意味】は左から右に読んでください。太字がアクセントです。単語の約 7 割はアクセントが最後の音節に来ます。

שָׁלוֹם　【読み】シャ**ろ**ーム　【意味】平和、「こんにちは」（挨拶）

יִשְׂרָאֵל　【読み】イスラ**エ**る　【意味】イスラエル

תַּלְמוּד　【読み】タる**ムー**ド　【意味】タルムード（ユダヤ聖典の 1 つ）

חַיִּים　【読み】は**イー**ム　【意味】生命、生活、生涯

אָכַל　【読み】ア**は**る　【意味】（彼は）食べた

ポイント　22 文字と 5 種類の母音記号が理解できれば、ヘブライ語は読める